

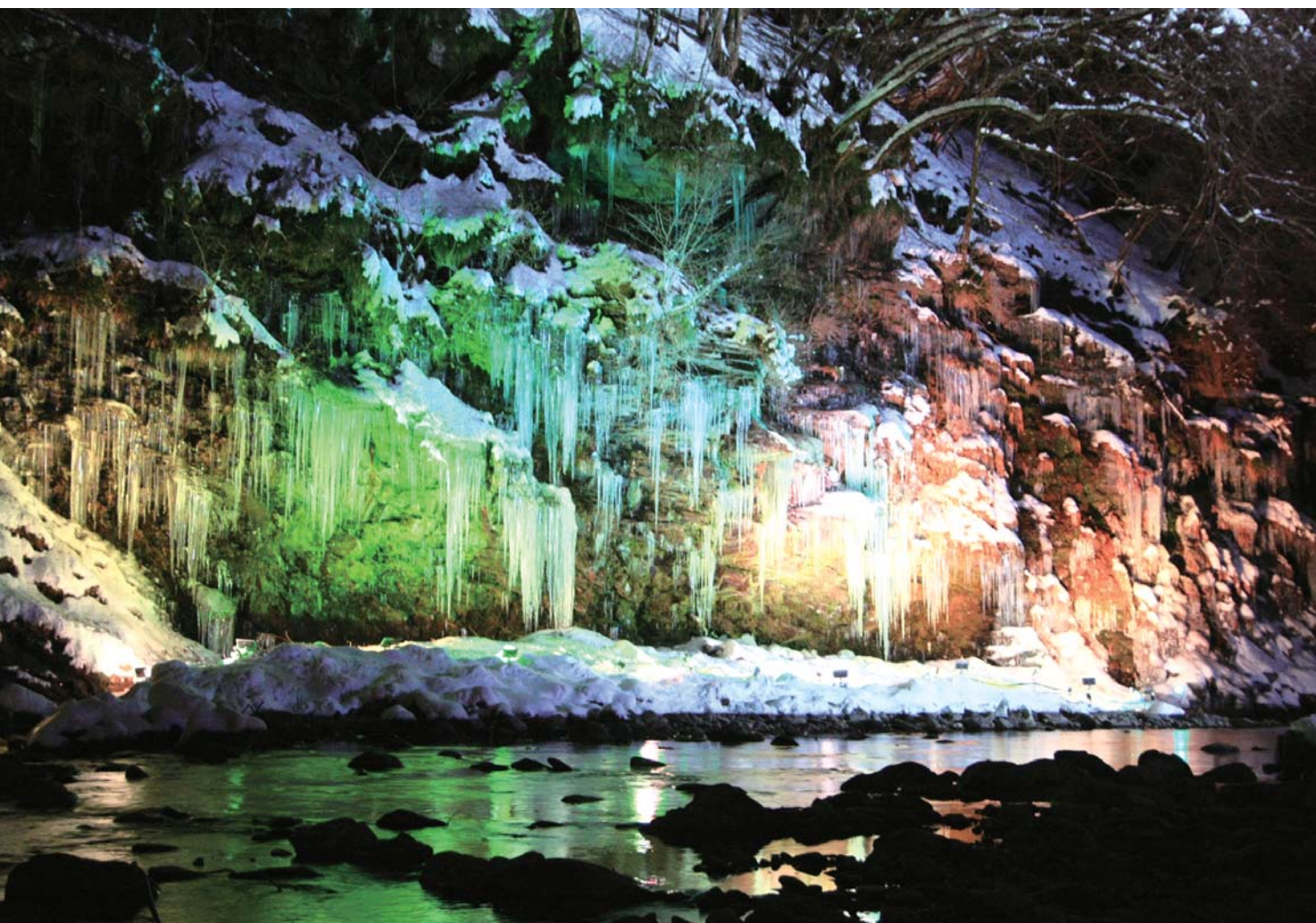
機関誌

埼危連

SAIKIREN

第7号

平成28年8月10日発行



公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会

発行所：公益社団法人 埼玉県危険物安全協会連合会
埼玉県さいたま市浦和区北浦和5-6-5

発行者：会長 山口 武義
印刷：(株)櫻井印刷所

目 次

ご挨拶 公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会 会長 山口武義	1
平成28年度通常総会開催	2
埼玉県危険物事故防止連絡会	2
平成28年度埼玉県危険物安全講演会	2
危険物安全功労者表彰	3
埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰	3
1 優良危険物事業所	4
2 優良危険物取扱者	4
3 優良普及啓発活動	5
意識の伝承活動「あの日を忘れるな」「二度と火を出すな」	
(株)ブリヂストン栃木工場 北関東生産本部 安全・防災推進室 防災リーダー 鈴木賢二	6
平成27年度事業報告・決算報告	10
平成27年度事業報告	10
平成27年度決算報告	11
平成28年度事業計画・収支予算	14
平成28年度事業計画	14
平成28年度収支予算	15
会員名簿	16
役員名簿	17
平成28年度危険物取扱者保安講習のご案内	18
平成28年度危険物取扱者試験準備講習会のご案内	18

表紙写真／秩父市大滝「^{みそつち つらら}三十槌の氷柱」(写真提供：秩父観光協会)

荒川の源流が流れる埼玉県秩父市大滝の山間部には、秩父ならではの冬の風物詩「三十槌の氷柱」と呼ばれる景勝地があります。

岩肌から染み出す湧き水が厳しい環境で凍り徐々にその姿を現し、自然の芸術を作り出します。天然のため、毎年表情を変え、幅約30メートル、高さ約8メートルの氷柱が出来上がります。天然の氷柱は透明度が高く氷柱の1本々が太くなり、氷柱の柱は、直径1メートル以上にもなるという迫力満点の大きさです。

期間中は、環境にやさしいBDF（バイオディーゼル燃料）発電機によるエコライトアップも行われます。秩父の四季をイメージし春の芝桜のピンク 夏の自然のグリーン 中津峡の紅葉のレッド 冬の景色のホワイトにライトが照らされ昼間とはまったく違う幻想的な光景を織りなします。

ご挨拶



公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会

会長 山口 武義

日ごろ、当連合会の事業の推進につきまして、格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、私は、去る5月18日の通常総会、臨時理事会におきまして、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長に就任いたしました。同時に副会長4名も全員が交代し、文字どおり新体制となりました。

もとより微力ではありますが、新役員一同、全力を尽くす所存でございますので、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年の4月に熊本地方で直下型の震度7の地震が連続して発生し、甚大な被害をもたらしました。県内でも多くの被害が想定される首都直下地震がいつ発生してもおかしくありません。また、集中豪雨による河川の氾濫や土砂災害など、様々な自然災害が発生しています。

このような災害に備え、「民による公益の増進」の一翼を担う公益法人として、「自らの安全は自らの手で守る」という自主防災の実現のために、当連合会の果たす役割の重さを強く認識しているところでございます。

特に、私たちの携わる危険物は、経済活動の基盤で、国民生活に不可欠なものです。ひとたび危険物事故が発生しますと、多くの生命や財産を奪うばかりではなく、周辺地域にも環境汚染等大きな影響を及ぼすおそれがあります。

当連合会におきましては、危険物安全管理思想の普及啓発や危険物取扱者への保安講習、危険物取扱者試験準備講習会などを実施して、防災意識の高揚と危険物取扱者の資質向上を図り、危険物事故の撲滅のためにさらに努力を重ねて参る決意でございますので、皆様方には、これまでも増して、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

**危険物
決めろ無事故の
ストライク**

平成28年度通常総会開催

平成28年度通常総会は、5月18日、さいたま市中央区のブリランテ武蔵野で開催されました。

総会では、平成27年度の事業報告及び決算報告である第1号議案及び第2号議案が一括して説明され、特に質問はなく、承認されました。(10頁～13頁参照)

また、第3号議案平成28年度会費について及び第4号議案任期満了等に伴う次期役員の選任についても、原案のとおり可決されました。

なお、総会後に行われた理事会で、新会長に山口武義理事、副会長に榎田達治理事、高橋賢司理事、青木啓一理事、森田隆夫理事が選出されました。

新体制の役員は、役員名簿(17頁参照)をご覧ください。

埼玉県危険物事故防止連絡会

埼玉連副会長、埼玉県消防防災課長、さいたま市消防局長、各ブロック代表消防長などで構成される埼玉県危険物事故防止連絡会が6月10日、さいたま市民会館うらわで開催されました。

会議では、まず、消防防災課から埼玉県内の危険物事故の発生状況について説明がありました。

埼玉県内の危険物に係る事故件数は、近年は30件前後で推移しており、平成27年は、29件で、前年に比べて4件減少した。

事故を危険物施設別に見ると、最近の5年間では、給油取扱所が最も多く、一般取扱所の順である。

事故の発生原因は、人的要因、物的要因、その他の要因で区分すると、最近5年間では、人的要因が73件(全体の52%)で最も多く、誤操作、操作確認不十分などである。

事故防止連絡会では、類似の原因による危険物事故が繰り返し発生していること、そして過去に起こった事故事例には、様々な教訓が含まれていることから、県内で発生した事故事例について、事故の原因や対策等を整理し、ホームページで紹介しています。

是非、ホームページをご覧ください、事故防止の参考にしてください。

(<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0402/kikenbuturenrakukai.html#hoankyokuusiryou>)

平成28年度埼玉県危険物安全講演会

平成28年度埼玉県危険物安全講演会が、6月10日、さいたま市民会館うらわにおいて、県、埼玉県危険物事故防止連絡会と当連合会の共催により開催されました。

山口会長は、開会のあいさつの中で、危険物事故の現況に触れ、今年の標語「危険物 決める無事故の ストライク」を引用して、「皆様には、常に全力投球で危険物を取り扱っていただき、無事故のストライクを決めていただきたい。」と事故防止を訴えました。

次に講演に入り、株式会社ブリヂストン栃木工場北関東生産本部の鈴木賢二氏から、「あの日を忘れるな」「二度と火を出すな」(6頁参照)と題して、講演が行われました。



危険物安全功労者表彰

5月18日の当連合会通常総会後の表彰式において、公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰及び関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰の伝達が行われました。また、清宮前会長、奥富前副会長、村田前副会長、田島前副会長など退任する役員7人へ、山口会長から感謝状が贈られました。



山口会長から清宮前会長へ感謝状を贈呈。
清宮前会長には、長年に渡り連合会の運営に御尽力いただき誠にありがとうございました。

平成28年度危険物安全大会は、6月6日、東京都千代田区のスクワール麹町において開催され、危険物保安功労者に対して、消防庁長官表彰や（一財）全国危険物安全協会理事長表彰が行われました。

平成28年度安全功労者総務大臣表彰の表彰式は、7月6日、千代田区のスクワール麹町で行われ、当連合会の監事である熊木恒夫北本市防火安全協会会長が受賞されました。

それぞれ受賞者は次のとおりです。（敬称略）
皆様、たいへんおめでとうございます。



安全功労者総務大臣表彰

熊木 恒夫 北本市防火安全協会会長

消防庁長官表彰

○優良危険物関係事業所

コニシ株式会社浦和工場

（一財）全国危険物安全協会理事長表彰

○危険物保安功労者（個人）

廣瀬 三郎 深谷地区防火安全協会会長
齊藤 俊明 入間市防火安全協会会長

○優良危険物関係事業所

カシュー株式会社大宮工場

○感謝状

渡邊 嗣彦 前(公社)川口市防火安全協会会長

関東甲信越地区危険物安全協会連合会会長表彰

○協会発展と災害防止功労

中島 直人 戸田市防火安全協会会長
並木 重和 新座市防火安全協会会長
青木 啓一 桶川市防火安全協会会長
松田 達行 三郷市防火安全協会会長
長島 清 羽生市危険物防火安全協会会長
永島 健雄 行田市防火安全協会副会長
大月 正雄 八潮市防火安全協会副会長
有泉 勝之 (公社)さいたま市防火安全協会副会長
鈴木 俊明 朝霞市危険物防火安全協会副会長
市川 文雄 三郷市防火安全協会副会長
矢部 十三男 上尾伊奈防火安全協会副会長
西郷 敏充 三郷市防火安全協会副会長

埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰

○感謝状

清宮 安雄 前埼玉連会長
奥富 喜平 前埼玉連副会長
村田 睦幸 前埼玉連副会長
田島 英治 前埼玉連副会長
大澤 正夫 前埼玉連理事
池田 岩夫 前埼玉連理事
大澤 利夫 前埼玉連理事

○優良危険物事業所

○優良危険物取扱者

○優良普及啓発活動

次ページに続く

埼玉県危険物安全協会連合会会長表彰（続き）

1 優良危険物事業所

危険物施設において、危険物施設の安全管理に努め、他の模範となる事業所

No.	事業所	地域
1	大石運輸 株式会社	さいたま市
2	有限会社 日野商店	〃
3	中央ガス 株式会社	〃
4	株式会社 タガヤ	〃
5	日医工 株式会社 埼玉工場	〃
6	国際興業 株式会社 さいたま東営業所	〃
7	川端色学工業 株式会社	川 口 市
8	株式会社 サンワテック	〃
9	東光スミシングスクール	〃
10	ブルドックソース 株式会社 鳩ヶ谷工場	〃
11	株式会社 ハチケン	〃
12	ジオスター 株式会社 東松山工場	比 企 地 区
13	一般財団法人 むさしの厚生文化財団 東松山スミシングスクール	〃
14	ボッシュ 株式会社 むさし工場	〃
15	有限会社 中村石油	〃
16	社会福祉法人 よし乃郷	〃
17	有限会社 金塚屋 ニュー平方給油所	上 尾 伊 奈
18	株式会社 キノシタ	所 沢 市
19	本庄児玉地区トラック事業協同組合	児 玉 郡 市
20	日興化成 株式会社 川越工場	川 越 地 区
21	武蔵貨物自動車 株式会社 川越支店	〃
22	株式会社 宇佐美 埼玉栃木販売支店254号 川越給油所	〃
23	三輪精機 株式会社 羽生工場	羽 生 市
24	医療法人 靖和会 飯能靖和病院	飯 能 地 方
25	新電元スリーイー 株式会社	〃
26	有限会社 小池運送	深 谷 地 区
27	埼玉石炭 株式会社	〃
28	有限会社 瀬古商店	〃
29	関東浅野パイプ 株式会社	熊 谷 市
30	合資会社 親松商店	〃
31	社会福祉法人 清風会 福祉医療センター 太陽の園	〃
32	株式会社 鷲宮製作所 狭山事業所	狭 山 市
33	有限会社 遠忠屋運輸	鴻 巣 市
34	岡山県貨物運送 株式会社 鴻巣営業所	〃
35	有限会社 手島運送	〃
36	利根産業株式会社	行 田 市
37	資材リンコム株式会社	〃
38	株式会社 アーク東京本社	朝 霞 市
39	株式会社 ヤマトヤ	西入間広域
40	株式会社 ENEOSネット Dr.Drive	〃
41	日本パッケージング 株式会社	幸 手 市
42	三菱電機ビルテクノサービス 株式会社 東日本物流センター	〃
43	共栄石油 株式会社 越谷流通団地SS	越 谷 市
44	青翔運輸 株式会社	杉 戸 町
45	今川製靴 株式会社	春 日 部 市
46	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 埼玉県済生会彩光苑	〃

No.	事業所	地域
47	三友商会 株式会社	春 日 部 市
48	特別養護老人ホーム 清寿園	〃
49	二上生コン 株式会社	〃
50	有限会社 ほそだガス	加 須 市
51	有限会社 加須住宅設備	〃
52	平岡織染 株式会社 草加事業所	草 加 市
53	有限会社 藤田油店	久 喜 地 区
54	有限会社 平澤商店	〃
55	堀川産業 株式会社 南埼玉営業所	〃
56	株式会社 グンリック	戸 田 市
57	ジャパンロジコム 株式会社	〃
58	京和運輸 株式会社	〃
59	第一産業 株式会社	秩 父
60	日本生活協同組合連合会 商品検査センター	蔵
61	マルネン 株式会社 セルフわらび給油所	〃
62	東包印刷 株式会社 埼玉工場	吉 川 松 伏
63	有限会社 鈴木酒店	〃
64	有限会社 松物流	〃
65	有限会社 相沢商会	和 光 市
66	株式会社 ENEOSフロンティア 埼玉第2支店 Dr.Driveセルフ志木宗岡店	志 木 市
67	株式会社 戸部商事	三 郷 市
68	白石運輸 株式会社	〃
69	株式会社 岡野石油店	八 潮 市
70	コスモ石油販売 株式会社 セルフピュアぶしSS	入 間 市
71	吉田製菓 株式会社 入間工場	〃
72	白杵運送 株式会社 埼玉支店	〃
73	株式会社 エー・アンド・デイ	北 本 市
74	株式会社 白井商店	桶 川 市
75	ババウチ石油 株式会社 CM鶴ヶ島SS	坂 戸・鶴 ヶ 島
76	白岡冶金 株式会社	白 岡 市
77	日東企業 株式会社	日 高 市

2 優良危険物取扱者

危険物の安全管理について、特に顕著な功労があり、他の模範となる危険物取扱者

No.	氏 名	事業所	地域
1	大木 正三	ダイワ化成 株式会社 大宮工場	さいたま市
2	中村 幸久	有限会社 中村鋳油店	〃
3	新井 英顯	有限会社 新徳石油	〃
4	加藤 慎也	株式会社 大宮自動車教習所	〃
5	飯島 勇七	株式会社 北栄運輸	川 口 市
6	栗原 敏雄	栗原商店	〃
7	矢島 浩之	有限会社 カネヒロ	〃
8	古田 明雄	ホテルカステルコー	〃
9	吉田 孝	株式会社 吉田燃料店	〃
10	瀬戸 猛士	東和アークス 株式会社 セルフグッドウール407SS	比 企 地 区
11	福島 宏昌	シチズン時計マニファクチャリング 株式会社 埼玉吉見工場	〃
12	中島 義夫	有限会社 中島油脂店	〃
13	大宮司邦男	三井金属鉱業 株式会社 総合研究所	上 尾 伊 奈
14	内野 高教	有限会社 内野商店	所 沢 市
15	橋爪 克則	有限会社 ハシヅメ商事	児 玉 郡 市
16	境野 康弘	東特塗料 株式会社 本庄工場	〃

No.	氏名	事業所	地域
17	梅田 秀雄	ニチアスウレタン 株式会社	羽生市
18	鈴木 英樹	日本メタルガスケツト 株式会社	熊谷市
19	大賀 新二	熊谷産業 株式会社 荒川南営業所	〃
20	増島 和行	株式会社 井ノ瀬運送	〃
21	内田 昌彦	柳河精機 株式会社 狭山工場	狭山市
22	岩間 俊和	株式会社 共栄ドライ	鴻巣市
23	小山 利行	日の本産業有限公司	行田市
24	久保田晴彦	行田ペイント	〃
25	山口 和彦	有限会社山口特殊印刷	〃
26	門井 清	寿屋フロンテ株式会社	〃
27	赤羽喜美子	赤羽運送株式会社	〃
28	森田 昇	株式会社ショーワ 本社・埼玉工場	〃
29	手塚 憲一	資材リンコム株式会社	〃
30	鈴木 哲直	有限会社 鈴木石油	朝霞市
31	矢部 久雄	武蔵OGMゴルフクラブ	西入間広域
32	島根 伸好	有限会社 島根屋商店	越谷市
33	高館 武彦	有限会社 杉戸プロパン	杉戸町
34	細田 一明	細田商店	加須市
35	甲斐 信二	高田製薬 株式会社	〃
36	大勝 雅春	首都圏コンクリート 株式会社	草加市
37	石井 書夫	株式会社 ゴードー 東京工場	久喜地区
38	但木 勝義	有限会社 但木米店	〃
39	猪股 博保	株式会社 TJMデザイン	秩父
40	並木 孝夫	有限会社 孝栄プロパン	新座市
41	荒井 新樹	オエンタル酵母工業 株式会社 埼玉工場	〃
42	須田 隆喜	株式会社 須田自動車	〃
43	板垣 大介	株式会社 東日本宇佐美 笹日通和光SS	和光市
44	佐藤 吉一	化研マテリアル 株式会社 埼玉物流センター	〃
45	関根 邦明	医療法人 壽鶴会 東武中央病院	〃
46	宇津野昌利	株式会社 コスモ 和光新倉給油所	〃
47	千代田恵子	早稲田スイングスクール/天然温泉めぐみの湯	三郷市
48	西田 勝重	株式会社 ニシネン砥油	〃
49	若林 信一	株式会社 田中屋	〃
50	竹田 勲	埼玉日石ホールディングス 株式会社	八潮市
51	三橋 敏夫	栽培ハウス	北本市

3 優良普及啓発活動

危険物安全管理思想の啓蒙及び普及において、特に顕著な功労があり、他の模範となる個人、団体又は事業所

No.	個人・団体・事業所	地域
1	高橋 一一(高橋企画)	さいたま市
2	吉村 克昌(株式会社 八洲電業社)	〃
3	有山 佳男(合資会社 有山産業)	〃
4	有泉 勝之(イズミ石油 株式会社)	〃
5	阿津沢 清(株式会社 丸中給食センター)	〃
6	飯嶋 利男(住美飯島塗装 有限会社)	川口市
7	稲垣 茂(稲垣鋳物材料 株式会社)	〃
8	太平化学製品 株式会社 川口工場	〃
9	いすゞ自動車首都圏 株式会社 東京北サービスセンター	〃
10	株式会社 倉持商事	上尾伊奈
11	社会福祉法人 聖久会 特別養護老人ホーム 東所沢みどりの郷	所沢市
12	日生工業 株式会社	児玉郡市

No.	個人・団体・事業所	地域
13	大澤 貞夫(有限会社 暁光社)	児玉郡市
14	株式会社 伊藤興産	川越地区
15	株式会社 くりいにんぐいわかみくん	〃
16	有限会社 ユーワ防災工業	〃
17	武州産業 株式会社	〃
18	株式会社 武蔵野銀行 川越支店	〃
19	皆成病院	深谷地区
20	特定医療法人 俊仁会 埼玉よりい病院	〃
21	医療法人社団 優慈会 老人保健施設 はなみずき	〃
22	有限会社 山中製作所	熊谷市
23	UCC上島珈琲 株式会社 北関東工場	〃
24	株式会社 ベルク 柿沼店	〃
25	株式会社 サンワ	狭山市
26	大進食品 株式会社	〃
27	足立防災商会	鴻巣市
28	学校法人 大塚学園 鴻巣ひかり幼稚園	〃
29	学校法人 吹上学園 吹上中央幼稚園	〃
30	有限会社 小寺実業	朝霞市
31	学校法人 精華学園 精華幼稚園	越谷市
32	ビジネスホテル雷鳥	〃
33	一般財団法人 化学物質評価研究機構 東京事業所	杉戸町
34	木下 一之(社会福祉法人 清光会 虹の園)	加須市
35	クレハイテックケミカルズ 株式会社	〃
36	株式会社 ディーイング割烹大徳	草加市
37	埼玉消防機械 株式会社	秩父
38	有限会社 伊藤建装工業	蕨
39	さいかつ農業協同組合 三輪野江支店	吉川松伏
40	株式会社 マツダ商事	〃
41	ポーエン化成 株式会社	和光市
42	ババウチ石油 株式会社	〃
43	株式会社 ENEOSフロンティア 東京第1支店 Dr.Driveセルフ和光白子店	〃
44	有限会社 寿豊	〃
45	サミットストア 柳瀬川駅前店	志木市
46	有限会社 飯田酒店	〃
47	株式会社 市之瀬電設	〃
48	飯島 義明(飯島運輸 株式会社)	三郷市
49	堀井 正隆(株式会社 白興)	〃
50	来 昌伸(来ハトメ工業 株式会社)	八潮市
51	柳下自動車 株式会社	入間東部地区
52	東名クリーニング	〃
53	株式会社 藤澤ねいけ堂	〃
54	有限会社 江戸屋倉庫	〃
55	こやま旅館	蓮田市
56	株式会社 大宮教育センター スウィン大教スイングスクール蓮田	〃
57	大鹿 博(株式会社 セイコーアドバンス 埼玉工場)	〃
58	株式会社 丸木屋	北本市
59	久保田 洋一(協防災 株式会社)	桶川市
60	東上ガス 株式会社 坂戸営業所	坂戸・鶴ヶ島
61	医療法人 若葉会 若葉病院	〃
62	プリズンタイムジャパン 株式会社 埼玉カンパニー春日部営業所	白岡市
63	埼玉工業 株式会社	日高市

意識の伝承活動

「あの日を忘れるな」「二度と火を出すな」

(株)ブリヂストン栃木工場
北関東生産本部 安全・防災推進室
防災リーダー 鈴木 賢二

1. 防火・防災管理

当工場は、2003年9月8日、11時45分頃に、ゴムと薬品を混練りする精練棟から出火し、2日間にわたって燃え続ける大火災を起こしました。地域住民の皆様、消防の皆様はじめ関係機関の皆様に多大なご迷惑をお掛けした大惨事を二度と繰り返さないため「あの日を忘れるな!」「二度と火を出すな!」を合言葉に継続して実施している防火・防災活動の一部を紹介したいと思います。



精練棟から立ち上る黒煙



屋外保管タイヤへの延焼

2. 火災の直接原因再発防止

出火の原因は、配合薬品の計量装置および精練機へ投入する装置周辺において薬品の飛散防止のため、溶接作業を行った際「溶接の火花」が配合薬品に着火し、延焼拡大したことです。

さらに、防災シートによる工事区画措置、防火シートによる火花受け措置がなされていなかったこと、火気使用の際に工場の防火・防災管理規則に則っていなかったことなどが、延焼を引き起こしたと考えられます。

そのため「火災の直接原因」となった、火気使用基準および配合薬品・原材料を含む可燃物管理の見直し・強化を実施してきました。

3. 工場内における火気使用基準の見直し・強化

- (1) 使用機器毎に火気扱いおよび火気立会人(監視人)の要否を細分化し、更に使用機器や工事場所の危険度により、火気立会人の複数配置を義務化しました。
- (2) 火気立会人業務を行う者は、「火気立会人認定証」を取得することとしました。これは安全・防災推進室が行う立会人認定講習を受講し、必要な要件(知識・技能)を理解した後、防火管理者より認定証が発行されます。工事受付窓口「火気立会人認定証」の提示が無いと、一切の火気あり工事を許可しない運用としました。
- (3) 「溶接・溶断」作業は全て防災担当による「作業前の養生チェック」を受け、許可を得てから作業を開始することとし、例外は無く、連休工事時も防災担当が交代で出勤し養生チェック・立会いを実施しています。これは内作、外注の別なく適用され、協力会社皆様にも「二度と火を出さない」ためとご理解、ご協力を頂き運用しています。

4. 可燃物管理基準の制定

火災発生当時、溶接火花の着火した薬品は危険物(消防法)に指定されておらず、危険性に対する認識が十分ではありませんでした。その薬品が火災後、危険物第5類に指定された経緯から、危険物指定の無い物でも、取扱いに細心の注意を払う必要性のある物は、特別扱いとする社内基準「可燃物管理基準」を制定し、原材料取扱いの管理強化を図りました。

- (1) 危険物指定の無い原材料等について社内評価を行い、危険物に近い危険性を持つ物は、「ブリヂストン特別管理材料：A」(危険物同等)とランク付けされ、工場に周知されます。
- (2) 工場は、危険物指定品と同等(法規制を満足する)の管理体制(建物・消防設備・標示)により取り扱っています。必要に応じて地区消防の指導を仰ぎ対応しています。

5. 発煙・発火の未然防止活動

防火管理の一番重要な活動となる、発煙・発火未然防止活動の取組にあたり、活動の基本となる実施7項目を設定しました。そして、全員の目線を合わせ継続した活動を展開しています。

(1) 防災重点7項目活動

- ① 不良配線のZD活動：仮配線・不要配線・不良配線の摘出「発煙・発火防止活動」
- ② 防災FTA/R A活動：設備の危険リスクをなぜなぜ分析で摘出
 - ・ 発煙・発火リスクを評価して、リスク低減・排除の対策を実施しています。
- ③ 異音パトロール：設備が発するいつもと異なった音(臭い)「発生源からの発煙・発火防止活動」
- ④ 動力車メンテナンスの標準化(点検・清掃)：日々・月次点検の標準化「発煙・発火防止活動」
- ⑤ 危険物・可燃物の取扱い作業標準：危険物・可燃物取扱い作業標準の整備・遵守
 - ・ 可燃物管理と並行、危険物を正しく扱う知識を得る為の危険物免状取得を推進しています。

- ・当工場を受験会場とし、取り易い環境づくりや事前勉強会を実施しています。
- ⑥夜間・休日・停電時の消防訓練：夜間休日の勤務体制での「初期消火訓練」実施
 - ・4班3交代24時間操業の工場であることから、班毎に「地区隊」を組織しています。地区隊は、初期消火班、通報連絡班、避難誘導班、救出救護班、安全防護班、ポンプ車隊で構成されており、「消防訓練」についても、地区隊が主体となって活動するよう災害想定を工夫しながら展開しています。
 - ・毎年9月8日を「ブリヂストングループ防災の日」と制定し【908あの日を忘れない、防災の原点：基本の実践】のスローガンの下、国内外各事業所で公設消防と合同の総合防災訓練等を展開しています。
 - ・10年目の年は、栃木県北地区5つの消防本部および県防災ヘリの参加協力を得て、火災発生・怪我人発生を想定した救助・消火合同訓練を実施しました。
 - ・「初期消火」の大切さを痛感し、ガソリンの燃える炎を消火器1本で消火する実践訓練として春と秋に「消火競技会」を開催しています。班毎に職場の代表として訓練未経験者が参加し消火器・消火栓を扱える(初期消火できる)人材を広げています。
 - ・3月11日には、大地震発生を想定した避難訓練を実施しています。
- ⑦無人施設の防火管理強化：無人になる施設の「リスク低減活動」
 - ・無人となる施設等発火リスク低減および早期発見する手段や消防設備の強化を進めています。
 - ・①③④は防災委員会メンバーによる総合パトロールの中で、不具合を摘出し改善に結び付けています。また職場主体に、使用していないコンセント差込口へコンセントキャップを取付ける。又、プラグ側へはタイトラキャップを取付ける活動。更には、制御盤内をサーモグラフィーで温度監視をし、端子緩み点検等、未然防止活動を展開しています。

(2)防災ヒヤリZD活動

消防法での火災区分「ボヤ火災」に至らない「ヒヤリ情報」を全工場で共有化し、類似災害防止活動や、また職場での困りごとや不具合を摘出・改善する「不具合情報活動」による全員参画の防災活動を進めています。

(3)防災意識の高揚活動

二度と火を出さない。強固な防災体制の維持継続は、立派な消防設備を備えても、きめ細かなルールを決めても、それを扱う者の意識が低ければ達成できません。いかに、人の防災意識を高く持ち、維持できるかです。

①防災トレーニングセンター設立

2004年に精練棟が再建されると同時に、「あの大火災を忘れてはならない」、を目的に防災トレーニングセンターを設立し、火災発生から精練棟再建までの研修や、その他防災研修活動を実施してきました。

②火災を知る人の減少

しかし、あれから13年が経過する中で、火災を経験した人たちが退職され、現在は従業員の半数以上の人々が火災を知らない人たちへと変わっている状況であり、今の防災トレーニングセンターでは伝えきれないと思い、真実を伝えて行く、語り継いで行く為に、防災トレーニングセンターをリニューアルしています。

③防災トレーニングセンターのリニューアル

私たちは、あらためて火災を振り返り、事実を受け止め、伝えて行く責任があります。これは、火災を経験した人たちの「あの辛い経験を他の人にさせたくないし、二度としたくない」という思いを感じて、火災と正面から向き合い、ありのままの事実を知る事、そしてそれを教訓とし、日常の防災活動に真剣に取り組み、「二度と火災を起こさない」決意を込めて設置しました。

④火災を拡大させてしまった薬品(発泡剤)を燃焼させ、炎の恐ろしさ(引火性・燃焼性)を肌で体感し、危険物管理の重要性を知る。更に万が一の時に速やかな消火活動が出来る。を目的に消火栓操法の訓練も実施しています。

⑤防災研修員制度

国内タイヤ工場の次期職長として活躍が期待される候補者に対し、防災管理を最も重要な管理能力のひとつに位置づけ、防災に関する知識と技能を付与し感度の高い監督者を育成する防災研修員制度を通し、防災意識の高い人材のすそ野を広げています。現在では56名が卒業し、自分の職場へ戻ってからも、その知識を他の従業員へ教える活動をしています。

6. 結びに

防災は誰にでも、どこにいても関係のあることです。工場だけではなく、事務所や営業所、自宅にも火災の危険は潜んでいます。例えば、コンセントのたこ足配線。規定以上の電力使用は発火の危険(リスク)があるのです。厳しいルールを作るだけでは、防災の意識は定着しません。大切なのは、なぜ危険なのかをしっかりと理解させ、身の回りの危険に自ら気づける目を養わせる。とにかく、現場の中に「燃焼の三要素」が揃ってないか！一人ひとりの意識と行動、その積み重ねが、全体の防災と安全を築いていくのではと思います。

「あの日を忘れるな！」「二度と火を出すな！」の想いを信念として、意識が低下することのないよう、ルールを愚直に守り、守らせる環境作りにこれからも努めていきます。拙文を御一読下さいました皆様方の安全・安心を心からご祈念申し上げます。

皆さま ご安全に！

平成27年度 事業報告・決算報告

平成27年度事業報告

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

消防法に基づく危険物に起因する災害防止を目的として、安全管理思想の普及啓発や危険物取扱者の資質向上の促進を図るため、保安講習並びに危険物取扱者試験準備講習会などを実施した。

1 公益目的事業

(1) 普及啓発事業

- | | | |
|---|--------------------------------------|---------|
| ア | 機関誌「埼危連」第6号の発行 | 10,000部 |
| イ | 危険物安全講演会の開催（埼玉県と共催）
期日 平成27年6月12日 | |
| ウ | 危険物安全ポスターの配布 | 7,600枚 |
| エ | 小冊子（ルール守って危険物） | 3,400部 |
| オ | 表彰 | |

危険物の安全管理に努め、他の模範となる事業所などの会長表彰を行うとともに、消防庁長官表彰などの対象者の推薦を行った。

- | | | |
|---|---------------------|------|
| カ | 危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業 | 10団体 |
| キ | インターネットを活用した普及啓発 | |

連合会の実施事業を掲載しているホームページをリニューアルし、危険物安全管理思想の普及啓発に努めた。

(2) 講習等事業

- | | | | |
|---|---------------|----------|-------------|
| ア | 危険物取扱者試験準備講習会 | 実施回数 21回 | 受講者数 1,143人 |
| イ | 危険物取扱者保安講習 | 実施回数 26回 | 受講者数 5,919人 |

2 収益事業

テキスト等販売事業

- | | | |
|---|--------------------------|--------|
| ア | 危険物取扱者試験準備用テキストの販売 | 3,816部 |
| イ | 地下タンク等点検済証の販売（移動貯蔵タンク含む） | 2,165枚 |

3 法人会計

(1) 諸会議の開催

- | | | |
|---|--------------------------|----------------------|
| ア | 総会 | 平成27年5月14日（ブリランテ武蔵野） |
| イ | 理事会 | 5回 |
| ウ | 正副会長打合せ会議 | 5回 |
| エ | 事務局長会議 | 2回 |
| オ | 表彰選考委員会 | |
| カ | 危険物安全管理思想普及啓発強化助成事業選定委員会 | |
| キ | 会長研修会 | |
| ク | 事務局長・事務主任者研修会 | |

(2) 県内関係団体との連携

(3) 埼玉県危険物事故防止連絡会

(4) 他団体との連携

- | | | |
|---|-------------------|--|
| ア | (一財)全国危険物安全協会 | |
| イ | 関東甲信越地区危険物安全協会連合会 | |

(5) 協賛事業

- | | |
|----------|-------------|
| 地震対策セミナー | 平成28年2月2日開催 |
|----------|-------------|

平成27年度決算報告

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,090,474	5,939,410	151,064
流動資産合計	6,090,474	5,939,410	151,064
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	16,547,883	16,543,742	4,141
基本財産合計	16,547,883	16,543,742	4,141
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	3,190,250	3,154,350	35,900
周年記念事業引当資産	5,110,018	4,910,018	200,000
事業収入変動引当資産	5,337,927	5,336,594	1,333
普及啓発強化引当資産	1,819,000	1,800,000	19,000
特定資産合計	15,457,195	15,200,962	256,233
(3) その他固定資産			
什器備品	668,200	668,200	0
減価償却累計額	△ 668,197	△ 668,197	0
その他固定資産合計	3	3	0
固定資産合計	32,005,081	31,744,707	260,374
資産合計	38,095,555	37,684,117	411,438
II 負債の部			
1. 流動負債			
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,190,250	3,154,350	35,900
固定負債合計	3,190,250	3,154,350	35,900
負債合計	3,190,250	3,154,350	35,900
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	34,905,305	34,529,767	375,538
(うち基本財産への充当額)	16,547,883	16,543,742	4,141
(うち特定資産への充当額)	15,457,195	15,200,962	256,233
正味財産合計	34,905,305	34,529,767	375,538
負債及び正味財産合計	38,095,555	37,684,117	411,438

正味財産増減計算書内訳表

(平成27年4月1日から平成28年3月31日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業 等 会 計	法人会計	合 計
	普及啓発 事 業	講習等 事 業	小 計	テキスト等 販 売 事 業		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益					4,141	4,141
基本財産受取利息					4,141	4,141
特定資産運用益					3,435	3,435
特定資産受取利息					3,435	3,435
受取会費					4,069,200	4,069,200
受取正会員会費					4,069,200	4,069,200
事業収益		31,524,620	31,524,620	6,315,008		37,839,628
準備講習会事業収益		7,150,400	7,150,400			7,150,400
テキスト販売事業収益				5,291,150		5,291,150
テキスト販売収益				5,291,150		5,291,150
奨励金収益				0		0
点検済証販売収益				692,800		692,800
保安講習事業収益		24,374,220	24,374,220			24,374,220
受託収益		24,372,180	24,372,180			24,372,180
奨励金等収益		2,040	2,040			2,040
全国危険物安全協会受託収益				331,058		331,058
受取補助金等	1,021,000		1,021,000		10,000	1,031,000
受取全危協助成金	1,021,000		1,021,000			1,021,000
受取関危連助成金					10,000	10,000
雑収益					31,804	31,804
受取利息					1,354	1,354
雑収益					30,450	30,450
経常収益計	1,021,000	31,524,620	32,545,620	6,315,008	4,118,580	42,979,208
(2) 経常費用						
事業費	2,869,521	15,451,372	18,320,893	4,766,773		23,087,666
防災思想普及啓発事業費	2,869,521		2,869,521			2,869,521
表彰費	814,644		814,644			814,644
事務費	561,228		561,228			561,228
印刷製本費	197,640		197,640			197,640
謝金	130,000		130,000			130,000
旅費交通費	25,813		25,813			25,813
通信運搬費	59,196		59,196			59,196
普及啓発強化助成費	881,000		881,000			881,000
普及啓発協賛金	200,000		200,000			200,000
準備講習会事業費		3,860,701	3,860,701			3,860,701
旅費交通費		207,783	207,783			207,783
事務費		672,939	672,939			672,939
食糧費		166,245	166,245			166,245
賃借料		347,680	347,680			347,680
謝金		1,509,000	1,509,000			1,509,000
賃金		95,000	95,000			95,000
受付・運営事務費		580,350	580,350			580,350
租税公課		281,704	281,704			281,704
保安講習事業費		11,590,671	11,590,671			11,590,671
旅費交通費		394,236	394,236			394,236
事務費		1,302,148	1,302,148			1,302,148
食糧費		148,999	148,999			148,999
賃借料		740,686	740,686			740,686

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業 等 会 計	法人会計	合 計
	普及啓発 事 業	講習等 事 業	小 計	テキスト等 販 売 事 業		
謝金		460,000	460,000			460,000
教材費		5,848,130	5,848,130			5,848,130
実施事務費		1,644,700	1,644,700			1,644,700
租税公課		1,051,772	1,051,772			1,051,772
テキスト販売事業費				3,940,682		3,940,682
テキスト購入費				3,050,540		3,050,540
販売協力費				341,884		341,884
賃借料				165,312		165,312
旅費交通費				8,000		8,000
賃金				95,000		95,000
事務費				67,727		67,727
租税公課				212,219		212,219
地下タンク等定期点検促進事業費				826,091		826,091
売りさばき金納付支出				707,200		707,200
事務費				4,276		4,276
旅費交通費				22,010		22,010
謝金				44,800		44,800
租税公課				47,805		47,805
管理費	405,205	15,322,351	15,727,556	1,006,271	2,782,177	19,516,004
事務管理費	405,205	15,322,351	15,727,556	1,006,271	1,556,340	18,290,167
給料手当	280,094	11,874,838	12,154,932	742,213	373,458	13,270,603
退職給付費用	11,638	529,529	541,167	17,457	23,276	581,900
福利厚生費	46,690	2,124,407	2,171,097	93,380	70,036	2,334,513
旅費交通費					98,494	98,494
事務費	23,564	188,511	212,075	23,564	235,638	471,277
賃借料	43,219	605,066	648,285	129,657	86,438	864,380
謝金					216,000	216,000
租税公課					70,000	70,000
交際費					383,000	383,000
会議費					875,837	875,837
総会費					492,452	492,452
理事会費					239,821	239,821
研修費					143,564	143,564
分担金					350,000	350,000
分担金					350,000	350,000
減価償却費					0	0
経常費用計	3,274,726	30,773,723	34,048,449	5,773,044	2,782,177	42,603,670
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,253,726	750,897	△ 1,502,829	541,964	1,336,403	375,538
評価損益等計						
当期経常増減額	△ 2,253,726	750,897	△ 1,502,829	541,964	1,336,403	375,538
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計						
(2) 経常外費用						
固定資産除却損						
経常外費用計						
当期経常外増減額						
当期一般正味財産増減額	△ 2,253,726	750,897	△ 1,502,829	541,964	1,336,403	375,538
一般正味財産期首残高			31,106,292	7,379,399	△ 3,955,924	34,529,767
一般正味財産期末残高			29,603,463	7,921,363	△ 2,619,521	34,905,305
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額						
指定正味財産期首残高						
指定正味財産期末残高						
III 正味財産期末残高			29,603,463	7,921,363	△ 2,619,521	34,905,305

平成28年度 事業計画・収支予算

平成28年度事業計画

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

1 公益目的事業

(1) 普及啓発事業

危険物に係る安全管理思想の啓発及び普及を図るため、次の事業を行う。

- ア 啓発資料（機関誌）の発行
- イ ホームページによる防災思想の啓発
- ウ 危険物安全管理思想の普及啓発を行う団体への助成
- エ 優良危険物取扱事業所等の表彰
- オ その他防災思想普及啓発のための事業

(2) 講習等事業

危険物取扱者の資質向上や育成を促進するなど危険物の安全管理体制の確立に寄与するため、次の事業を行う。

ア 準備講習会事業

危険物取扱者試験受験者のため危険物取扱者試験準備講習会を次のとおり開催する。

- (ア) 甲種 (3回)
- (イ) 乙種4類 (16回)

イ 危険物取扱者保安講習

消防法第13条の23に規定する講習を埼玉県から受託し、次のとおり実施する。

- (ア) 給油取扱所 (9回)
- (イ) その他施設 (17回)

2 収益事業

(1) テキスト等販売事業

危険物取扱者試験準備講習会のためのテキスト販売や地下タンク等定期点検を促進するための点検済証販売などの事業を行う。

- ア 危険物取扱者試験準備テキストの販売
- イ 地下タンク等点検済証の販売

3 法人会計

その他連合会の目的を達成するために必要な事業

(1) 諸会議の開催

- ア 総会・理事会等の開催
- イ 研修会の開催

(2) 県内関係団体との緊密な連携

埼玉県、県内各消防本部及び関係団体との連携を密にし、連合会事業の円滑な推進を図る。

(3) 他団体との連携・協力

- ア (一財) 全国危険物安全協会との連携・協力
- イ 関東甲信越地区危険物安全協会連合会との連携・協力

平成 28 年度 収支予算

(平成28年 4 月 1 日から平成29年 3 月31日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益			4,000	4,000
基本財産受取利息			4,000	4,000
特定資産運用益			4,000	4,000
特定資産受取利息			4,000	4,000
受取会費			3,980,000	3,980,000
受取正会員会費			3,980,000	3,980,000
事業収益	30,360,000	6,837,000		37,197,000
準備講習会事業収益	7,462,000			7,462,000
テキスト販売事業収益		5,682,000		5,682,000
点検済証販売収益		800,000		800,000
保安講習事業収益	22,898,000			22,898,000
全国危険物安全協会受託収益		355,000		355,000
受取補助金等	900,000		10,000	910,000
全国危険物安全協会助成金	900,000		0	900,000
関危連助成金			10,000	10,000
雑収益			1,000	1,000
受取利息			0	0
雑収益			1,000	1,000
経常収益計	31,260,000	6,837,000	3,999,000	42,096,000
(2) 経常費用				
事業費支出	20,255,000	5,295,000		25,550,000
防災思想普及啓発事業費支出	3,190,000			3,190,000
準備講習会事業費支出	4,435,000			4,435,000
保安講習事業費支出	12,630,000			12,630,000
テキスト販売事業費支出		4,365,000		4,365,000
地下タンク等定期点検促進事業費支出		930,000		930,000
管理費支出	16,529,000	1,064,000	3,150,000	20,743,000
事務管理費	16,529,000	1,064,000	1,650,000	19,243,000
給料手当	12,922,000	796,000	382,000	14,100,000
退職給付費用	543,000	17,000	23,000	583,000
福利厚生費	2,186,000	94,000	70,000	2,350,000
その他事務管理費	878,000	157,000	1,175,000	2,210,000
会議費			1,150,000	1,150,000
分担金			350,000	350,000
減価償却費				0
経常費用計	36,784,000	6,359,000	3,150,000	46,293,000
当期経常増減額	△ 5,524,000	478,000	849,000	△ 4,197,000
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
(2) 経常外費用				
当期経常外増減額				
当期一般正味財産増減額				△ 4,197,000
一般正味財産期首残高				34,905,305
一般正味財産期末残高				30,708,305
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				
指定正味財産期首残高				
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高				30,708,305

(注) 1. 借入金限度額 2,000,000円 2. 債務負担額 826,560円

会 員 名 簿

平成28年 8月 1日現在

No.	協 会 名	代表者(会員)氏名	〒	所 在 地	電話番号
1	(公社)さいたま市防火安全協会	有 山 佳 男	330-0834	さいたま市大宮区天沼町1-893	048-640-3011
2	(公社)川口市防火安全協会	吉 澤 利 雄	333-0848	川口市芝下2-1-1	048-261-8375
3	比企地区危険物防火安全協会	榎 田 達 治	355-0073	東松山市上野本1300-1	0493-23-2268
4	上尾伊奈防火安全協会	大 澤 正 夫	362-0013	上尾市上尾村537	048-775-1314
5	所沢市防火安全協会	並 木 政 夫	359-1118	所沢市けやき台1-13-11	04-2929-9133
6	児玉郡市防火安全協会	入 基 弘	367-0035	本庄市西富田904-3	0495-24-8392
7	川越地区危険物防火安全協会	馬 場 常 正	350-0823	川越市神明町48-4	049-222-0744
8	羽生市危険物防火安全協会	長 島 清	348-0065	羽生市藤井下組990-1	048-565-1234
9	飯能地方防火安全協会	加 藤 正 幸	357-0015	飯能市小久保291	042-974-7221
10	深谷地区防火安全協会	廣 瀬 三 郎	366-0029	深谷市上敷免858	048-571-0913
11	熊谷市防火安全協会	森 田 隆 夫	360-0811	熊谷市原島675-1	048-501-0118
12	狭山市防火安全協会	角 田 義 明	350-1333	狭山市上奥富1172	04-2953-7113
13	鴻巣市防火安全協会	浅 子 寛	365-0062	鴻巣市箕田1638-1	048-597-2005
14	行田市防火安全協会	横 田 保 良	361-0023	行田市長野4389-1	048-550-2122
15	朝霞市防火安全協会	小 寺 崇 夫	351-0023	朝霞市溝沼1-2-27	048-463-1190
16	西入間広域危険物防火安全協会	麻 原 正 男	350-0441	入間郡毛呂山町岩井2451	049-295-0163
17	幸手市危険物安全協会	手 島 幸 成	340-0114	幸手市東4-5-10	0480-42-9118
18	越谷市防火安全協会	井 橋 吉 一	343-0025	越谷市大沢2-10-15	048-974-0103
19	杉戸町危険物防火安全協会	斉 田 哲	345-0024	北葛飾郡杉戸町堤根4750-1	0480-33-6010
20	春日部市危険物防火安全協会	池 田 勝 明	344-0035	春日部市谷原新田2097-1	048-738-3117
21	加須市危険物防火安全協会	原 田 勝 一	347-0011	加須市北小浜780-1	0480-61-1012
22	草加市防火協会	田 村 研 二	340-0012	草加市神明2-2-2	048-924-2113
23	久喜地区防火安全協会	小 嶋 明 夫	346-0021	久喜市上早見396	0480-21-2712
24	戸田市防火安全協会	中 島 直 人	335-0021	戸田市新曾1875-1	048-420-2125
25	秩父防火安全協会	小 池 文 喜	368-0021	秩父市下宮地町10-25	0494-21-0121
26	蕨防火協会	山 口 武 義	335-0005	蕨市錦町5-1-22	048-441-0174
27	吉川松伏防火安全協会	横 川 勲	342-0016	吉川市会野谷481	048-982-3919
28	新座市防火安全協会	並 木 重 和	352-0011	新座市野火止2-9-45	048-478-1311
29	和光市防火安全協会	神 杉 章	351-0106	和光市広沢1-3	048-461-7850
30	志木市保安防火安全協会	市ノ瀬 征 雄	353-0004	志木市本町1-3-1	048-472-0812
31	三郷市防火安全協会	松 田 達 行	341-0038	三郷市中央5-45-4	048-952-1298
32	八潮市防火安全協会	渋谷 敏 男	340-0012	草加市神明2-2-2	048-924-2113
33	入間市防火安全協会	齊 藤 俊 明	358-0026	入間市小谷田581	04-2962-7257
34	入間東部地区防火安全協会	大 曾 根 豊	356-0058	ふじみ野市大井中央1-1-19	049-261-6007
35	蓮田市防火安全協会	高 橋 賢 司	349-0133	蓮田市閨戸178-1	048-768-1109
36	北本市防火安全協会	熊 木 恒 夫	364-0032	北本市緑3-396	048-592-5005
37	桶川市防火安全協会	青 木 啓 一	363-0011	桶川市北1-25-23	048-773-1190
38	坂戸・鶴ヶ島防火安全協会	久 保 田 利 明	350-0221	坂戸市鎌倉町16-16	049-281-3117
39	白岡市防火安全協会	黒 須 大 一 郎	349-0214	白岡市寺塚162-1	0480-92-1800
40	日高市防火安全協会	本 木 信 一	357-0015	飯能市小久保291	042-974-7221

役員名簿

平成28年7月1日現在

役職名	氏名	所 属		
		ブロック	所 属	役職名
名誉会長	上田清司	-	埼玉県	知事
顧問	槍田義之	-	埼玉県危機管理防災部	部長
顧問	市川善一	-	埼玉県危機管理防災部消防防災課	課長
顧問	辻和明	-	埼玉県消防長会	会長
顧問	清宮安雄	-		埼玉連前会長
会長	山口武義	1	蕨防火協会	会長
副会長	榎田達治	2	比企地区危険物防火安全協会	会長
副会長	高橋賢司	4	蓮田市防火安全協会	会長
副会長	青木啓一	1	桶川市防火安全協会	会長
副会長	森田隆夫	3	熊谷市防火安全協会	会長
理事	馬場常正	2	川越地区危険物防火安全協会	会長
理事	小寺崇夫	2	朝霞市防火安全協会	会長
理事	小池文喜	3	秩父防火安全協会	会長
理事	神杉章	2	和光市防火安全協会	会長
理事	松田達行	4	三郷市防火安全協会	会長
理事	吉澤利雄	1	公益社団法人川口市防火安全協会	会長
理事	浅子寛	1	鴻巣市防火安全協会	会長
理事	廣瀬三郎	3	深谷地区防火安全協会	会長
理事	斉田哲	4	杉戸町危険物防火安全協会	会長
理事	渋谷敏男	4	八潮市防火安全協会	会長
常務理事	平野豊実	-	公益社団法人埼玉県危険物安全協会連合会	事務局長
監事	熊木恒夫	1	北本市防火安全協会	会長
監事	並木政夫	2	所沢市防火安全協会	会長
監事	長島清	4	羽生市危険物防火安全協会	会長

平成28年度 危険物取扱者保安講習のご案内

平成28年度危険物取扱者保安講習の9月以降の開催予定は次のとおりです。該当する方は必ず受講してください。なお、講習案内、受講申請書は危険物安全協会、防火安全協会等（消防本部内又は一部消防署内）にあります。受講申込みの際には、免状と埼玉県収入証紙4,700円（受講手数料）が必要です。

講習日・講習会場及び定員

種別	講習日	講習会場	定員
給油取扱所	9月16日(金)	熊谷市立文化センター文化会館	498
	9月29日(木)	春日部市民文化会館	389
	9月30日(金)	川越西文化会館	348
	12月1日(木)	さいたま市文化センター	326
	1月25日(水)	さいたま市文化センター	326
その他の施設	10月13日(木)	朝霞市コミュニティセンター	200
	10月14日(金)	熊谷市立文化センター文化会館	498
	10月19日(水)	川越西文化会館	348
	10月20日(木)	久喜総合文化会館	298
	10月21日(金)	さいたま市民会館うらわ	450
	12月6日(火)	さいたま市民会館うらわ	450
	1月26日(木)	さいたま市文化センター	326

講習時間は13時～16時（12時30分から受付）

注）各会場とも申込者が定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込みください。

この講習のお問い合わせは、最寄りの各協会（16ページ「会員名簿」参照）又は当連合会（TEL048-834-7784 ホームページ<http://www.saikiren2007.or.jp>）までお願いします。

平成28年度 危険物取扱者試験準備講習会のご案内

危険物取扱者試験受験者の予備知識向上のため、次のとおり試験準備講習会を開催します。直前対策として、試験合格の近道です。奮って受講されますようご案内します。

講習日・講習会場・定員

種別	期別	講習日	講習会場	定員
甲種	2期	10月8日(土)・9日(日)	埼玉県防災学習センター	100
	3期	1月28日(土)・29日(日)	埼玉県県民活動総合センター	100
乙種第4類	8期	8月27日(土)・28日(日)	春日部市市民活動センター	90
	9期	9月10日(土)・11日(日)	埼玉県防災学習センター	100
	10期	9月17日(土)・18日(日)	キララ上柴(深谷市)	120
	11期	10月29日(土)・30日(日)	川越南文化会館	96
	12期	11月12日(土)・13日(日)	埼玉県防災学習センター	100
	13期	11月14日(月)・15日(火)	川口総合文化センター・リリア	100
	1日	*11月27日(日)	埼玉県防災学習センター	100
	14期	2月11日(土)・12日(日)	埼玉県県民活動総合センター	100
	15期	2月18日(土)・19日(日)	朝霞市産業文化センター	130

*印は1日の講習です。試験直前講習で、以前に準備講習会を受講された方が対象です。

申し込み方法等 各協会（16ページ「会員名簿」参照）又は当連合会（TEL048-834-7784 ホームページ<http://www.saikiren2007.or.jp>）までお問い合わせください。